

4. 本時の目標

・文章を絵に表す中で、場面の様子やスイミーの気持ちについて想像を広げることができる。(読むこと)

5. 本時の展開

学習の流れと子どもたちの意識	指導者の役割	本時における主な評価
<p>1. 前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>じぶんがかいたさしえから、そうぞうをひろげよう。</p> <p>2. 第4場面を読み、読み取ったことをもとに、自分の描いた絵にスイミーをはる。またスイミーの気持ちや場面へのイメージなどを付箋で書き込む。</p> <p>にじいろってかいてたからこんなカラフルにしたよ！</p> <p>なんだかおもしろいものがたくさんいて、スイミーも元気になりそう！</p> <p>3. 描いたものを班で交流し、感じたことや思ったことを交流する。</p> <p>このにじいろ、とってもきれいだな！ぼくもうみのなかでみてみたいな。</p> <p>こんなえびがめのまえにいたらびっくりするな。スイミーもびっくりしたのかな。</p> <p>4. 全体で、場面の様子やスイミーの気持ちや疑問に思ったことについて考えたことを発表する。</p> <p>きのうのくらいうみのそことはちがって、なんだか楽しそうだね。げんきになりそうだな。</p> <p>おもしろいものがたくさんあったね。これだとひとりぼっちじゃないとおもえるね。</p> <p>5. 本時の授業を振り返り、国感を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回描いた4場面のさしえに、本文の言葉をもとにスイミーを貼り付けるよう言葉がけをする。 ・ 途中経過の自分の思いを付箋に書き残すことで、後で振り返られるようにしておく。 ・ 絵を交流するときに、友だちの絵を見て感じたことや思ったことを伝え合うようにする。その際、その自分が描いた景色をスイミーも海で見ていることに気づけるよう声かけをする。 ・ 友だちが描いた絵が見えるように、黒板に貼っておく。 ・ 貼られた絵を見ながら、同じような景色を見ていたスイミーの気持ちについて迫っていけるようにする。 	<p>読むことの満足できる姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章を絵に表す中で、場面の様子やスイミーの気持ちについて想像を広げている。(読むこと) ▲ 文章から読み取ったことや自分の絵から場面の様子やスイミーの気持ちを想像することができない。 ◇ 子どもの書いている付箋や活動の進捗状況を参考に、手が止まっている子どもには、どんな色を使うか、どんな形かなどを声かけして、想像を広げられるよう支援する。 ◇ 絵を見て感じたことを付箋に描いておくことで、自分が感じたことを後で振り返り、場面の様子やスイミーの気持ちを想像することにつなげられるようにしておく。